

令和元年度第2回富山市入札監視委員会の概要

開催日時・場所	令和2年2月12日（水）午後2時から4時まで 富山市役所第3委員会室
委員 (委員数5名) 出席4名	委員長 古田俊吉（富山大学名誉教授） 委員 新畑 彬（元大沢野町助役） 委員 大石貴之（弁護士） 委員 金山睦美（税理士）
欠席1名	委員 彼谷 環（富山国際大学教授）
次第	1 開会 2 富山市の入札・契約手続の運用状況について ・富山市の建設工事等の入札・契約制度について ・入札・契約事務の改善について ・指名停止等の運用状況について ・入札・契約方式別の発注工事及び落札率について 3 審議対象工事の抽出について 4 抽出工事の審議 5 審議結果のまとめ 6 閉会
対象期間	平成31年4月1日から令和元年9月30日まで
抽出工事 (落札率)	10件（対象工事件数479件） ・ 一般競争入札（4件） ・ 準用河川中川改修（第18工区）工事（97.01%） ・ 旧大山町営プール解体工事（81.79%） ・ 東老田地区配水管布設替（その2）工事（87.76%） ・ 富山公共下水道八幡田稻荷幹線水位計設置工事（88.54%） ・ 指名競争入札（5件） ・ 30災3610-0006八尾町赤石用水路災害復旧工事（99.79%） ・ 市道区画街路第3330号線改良工事（98.35%） ・ 市道下奥井広田線舗装補修工事（87.23%） ・ 市営住宅城村団地解体工事（97.95%） ・ 市道十三石橋上野線側溝補修工事（99.48%） ・ 随意契約（1件） ・ 富山市役所本庁舎喫煙所設置工事（99.34%）
審議の概要	別紙のとおり
委員会の意見	令和元年度上半期分の富山市発注の建設工事に係る入札・契約については、概ね適正に行われていたと判断する。

別 紙

意見・質問	回 答
① 「準用河川中川改修（第18工区）工事」について、入札公告に定める工事施工実績についてはどのように確認されるのか。	① 工事施工実績については、入札書審査時に業者から提出された「同種工事の施工実績調書」を基に、入札公告の施工実績が満たされているかを確認している。
② 「旧大山町営プール解体工事」について、落札者以外の業者も調査基準価格を下回る価格で入札しているが、どのような要因が考えられるか。	② 入札価格が低くなったのは各業者の企業努力により、競争原理が働いたと考えている。
③ 「東老田地区配水管布設替（その2）工事」について、落札業者は、入札参加資格を満たす配置技術者を配置することができたのか。	③ 入札参加審査時に配置技術者の施工能力として、土木施工管理技士、管工事施工管理技士と同等以上の資格、若しくは、配管技能士の資格を有する者を配置できることとしており、それらの技術者を配置できることを確認している。
④ 「富山公共下水道八幡田稻荷幹線水位計設置工事」について、入札に参加することが可能だった業者は何者あるか。	④ 入札参加資格のある電気業者のうち、公告で定める下水道施設に関する電気工事の施工実績のある業者は、6者であった。
⑤ 「30災3610-0006八尾町赤石用水路災害復旧工事」について、市の指名基準のうち、Cランク業者中心の発注工事だということは把握できるのか。	⑤ 指名競争入札における発注標準はHP等で公表しており、金額区分を確認すれば、Cランク業者中心の発注工事であることは把握できる。
⑥ 「市道十三石橋上野線側溝補修工事」において、指名業者8者のうち6者が辞退しているが、辞退理由はどのようなものか。	⑥ 辞退理由としては、現場代理人等の人員が不足しているため、技術者の確保が困難であるとの理由であった。